

◆ 断熱性能

HEAT20・G3： (民間の推奨基準)	”全館連続冷暖房”レベル UA値※：0.26 (W/m ² ・K)
HEAT20・G2： (民間の推奨基準)	”全館連続冷暖房”レベル ⇒費用対効果を考えると福岡地域はこれ！ UA値※：0.46 (W/m ² ・K)
HEAT20・G1： (民間の推奨基準)	”快適”の最低レベル＝非暖房室・1月・朝方・概ね15℃を下回らない UA値：0.56 (W/m ² ・K)
ネット・ゼロ・エネルギーハウス (ZEH)：	通産省が省エネ施策として推進 UA値：0.60 (W/m ² ・K)
断熱等級4： (平成28年省エネ基準)	”健康”の最低レベル＝非暖房室・1月・朝方・概ね10℃を下回らない UA値：0.87 (W/m ² ・K) ※平成11年(1999年)に定められた基準・省エネ法現行基準

※UA値(外皮平均熱貫流率)：数値が小さいほど断熱性能が高い。

※気密を確保し”真冬の朝、無暖房で18℃”を目指しましょう！

◆ 耐震・耐風性能

耐震等級3：	耐震性能は概ね建築基準法の1.5倍。 使用が継続できる程度に損傷や変形を抑えることを目標。 耐力面材を使用することで繰返しの地震にも有利。
耐震等級2：	耐震性能は概ね建築基準法の1.25倍。 数百年に一度発生する大地震(震度6強～7程度)に対して、補修により使用が継続できる程度に損傷や変形を抑えることを目標。
耐震等級1： (建築基準法)	数百年に一度発生する大地震(震度6強～7程度)に対して、使用を継続することは想定していない。(最低限の基準、人命を優先)

※耐震等級：住宅品確法・住宅性能の等級

※地域によっては地震係数によって地震力の低減が認められています。福岡県は0.8。

※繰返しの地震対策も求められています。

これからは
断熱(省エネ)性能 = HEAT20・G2グレード
耐震性能 = 耐震等級3



未来の
ために
いま選ぼう

地球温暖化のための国民運動
[COOL CHOICE] (賢い選択)
私たちの取り組みが
地球の未来を左右します